

連合群馬青年委員会 スポーツ交流 運動会で組織の枠を超えた仲間をつくろう!



6月23日、前橋工科大学グラウンドにて、青年委員会による「スポーツ交流・運動会」を開催し、産別・地協より136名が参加しました。

冒頭、新井青年委員長（電力総連・東電労組）より「組織の枠を超えた青年層組合員の仲間づくりの場として開催しました。メンバーで協力し合い、みんなで運動会を楽しもう」とのあいさつで開会しました。

当日は梅雨の合間の晴天に恵まれ、暑さと闘いなが

ら綱引き、長縄飛び、逃げ玉入れ、混合リレーの競技を行い、チームが一丸となって取り組みました。

綱引きでは各チームのメンバーがそれぞれ声を出し合うとともに、応援も一体となって声を出し、優勝・準優勝が決定しました。賞品は東日本大震災復興支援として、福島県の銘菓や特産物を贈呈しました。参加者は「プログラムが進むにつれ、メンバー同士の仲間意識が芽生え、楽しく取り組むことが出来た」と話していました。



綱引き順位決定戦では、最後の力を振り絞り闘う



女子も力を振り絞り走る



逃げ玉入れは作戦を立てて挑む



競技の中で一番体力を消耗？長縄跳び



重い竹を持ってゴールを目指せ!



“新社会人のための” 全国統一労働相談キャンペーン

6月18日～19日、新社会人を対象とした全国統一労働相談キャンペーンを実施しました。2日間の相談は合計15件（男性9件・女性6件）で内容は「嫌がらせ」が最も多く、本人からの相談の他に、夫や子どもの苦しむ様子を見かねた、



朝早くからの相談に対応

妻や母親からの相談もありました。他に「賃金未払い」や、試用期間終了後の雇用打切りなど「労働契約関係」の相談もありました。

非正規労働者支援 地協リレー街宣を実施!



6月18日～21日、連合群馬12地協の協力を得て、パート、アルバイトや派遣などで働く仲間を支援する、非正規労働者支援街宣リレーを実施しました。



この間の件数は、全体 高崎地協車は西毛地区を街宣で19件（男性10件・女性9件）となり、非正規労働者からの相談は6件で、「同僚や上司からの嫌がらせ」「有給休暇がもらえない」などの相談がありました。